

令和7年度第1回浜松市歯科保健推進会議 会議録

- 1 開催日時 令和7年7月31日(木) 午後1時30分から午後3時00分
- 2 開催場所 浜松市口腔保健医療センター 講座室
- 3 出席状況
- | | |
|-----|--|
| 委員 | 柴木 利明 (会長)、相澤 秀夫、新井 恵美、石田 真規子、磯部 智明、今泉 菜穂子、鈴木 一 高橋 久美子、野寄 秀明、吉川 和美 |
| 事務局 | 平野由利子医療担当部長、小笠原雅美健康増進課長、高柳弥生健康増進課母子グループ長、伊藤梓口腔保健医療センター所長、藤田亮子口腔保健医療センター主幹、川瀬真由口腔保健医療センター、板倉称保健所長、西崎公康健康医療課長、密岡宏行保健総務課長、柴田多美子障害保健福祉課長補佐、竹村和枝高齢者福祉課医療・介護推進担当課長、谷口弘記介護保険課長、鈴木勝己国保年金課長、渡邊仁こども家庭部幼保運営課長、里見陽祐ウエルネス推進事業本部副本部長、渡瀬雄介学校教育部健康安全課長補佐 |
- 4 傍聴者 0人
- 5 議事内容
- (1) 令和6年度歯科口腔保健事業実績
 - (2) 口腔保健支援センター関連事業実績
 - (3) 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組
 - (4) 歯科保健の推進に関する委員のご意見
 - (5) 令和7年度歯科保健事業計画
 - (6) 浜松市歯科口腔保健推進条例改正について
- 6 会議録作成者 健康増進課口腔保健医療センター 藤田亮子
- 7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 有

8 会 議 記 録

定刻の午後 1 時 3 0 分に開会し、事務局から委員の出席数の報告、情報公開の確認、報道機関の取材と傍聴者の了承、委員の紹介、医療担当部長挨拶、事務局の紹介を行った。また、会長選出では柴木委員が選任され、職務代理者として磯部委員が指名された。

(1) 令和 6 年度歯科口腔保健事業実績

(事務局)

令和 6 年度歯科口腔保健事業実績について説明を行った。

(委員)

障がい者施設歯科健診について、既にかかりつけ医へ通っている者もいると思うが、その者を含めて健診を行っているか。

(事務局)

かかりつけ医がある方もない方も健診の対象者としている。中には健診を希望しない方がいるが、その方にかかりつけ医があるか否かについては把握をしていない。

(委員)

実績報告の数字について説明してほしい。

(事務局)

健診を受けた方の人数であり、希望をせず健診を受けなかった方は含んでいない。

(2) 口腔保健支援センター関連事業実績

(事務局)

口腔保健支援センター関連事業実績について説明を行った。

(委員)

災害時歯科衛生士ボランティアの継続確認について、継続できる者が半数に減っている理由を把握しているか。

(事務局)

前回登録の令和元年から期間が空いたことにより対象とした歯科衛生士のライフステージが変わったり、市外に出られたりなどの理由があった。それ以外にも連絡先が変わり連絡がとれない者もいる。

(3) 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組

(事務局)

歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組について説明を行った。

(会長)

浜松市は、災害時の歯科口腔保健について継続的に話しあってほしい。

(4) 歯科保健の推進に関する委員のご意見

(委員)

周知は繰り返し継続していくことが重要であると考えているので、市や歯科医師会よりオーラルフレイルの啓発や訪問に関する事、歯科医師への相談や連携などについて、介護サービス事業所などへ向けた説明の機会をお願いしたい。

(委員)

例年通り新規入会の会員向け資料の配布説明会の際に、定期的な歯科受診をすすめていく。成人期の保護者向けに、歯周病予防を重視した歯科講座を開催できるよう検討していきたい。

(委員)

被扶養者の特定健診受診率向上を目的として、静岡市で歯科健診も可能なサンデーレディース健診を行う。また、学齢期の子どもを対象とした健康教育の取り組みを始めた。生活習慣や食事のとり方等の授業を通じて、ヘルスリテラシーの向上を目的としている。歯の専門家は協会にはいないため、行政と一緒に進められる事業等があれば協力していきたいと考えている。

(委員)

歯科保健行動の実践報告を行い、フッ化物洗口など、市の取り組みについて理解してもらえるように説明をしていく。乳幼児期は永久歯が入る前の大事な時期と捉えている。今は、生活習慣が整わない子が増えていたり口の機能が低下している状況になっていると思われるので、引き続き、歯と口の健康のために取り組んでまいりたいと考えている。

(会長)

委員の意見をもとに関係する課、組織、団体は協力しあいより充実した歯科保健事業が展開されることを期待する。

(5) 令和7年度歯科保健事業計画

(事務局)

令和7年度歯科保健事業計画について説明を行った。

(委員)

(6) 杏林堂・HALEON(株)他の事業に対する協力について、歯科医師会の中でこの事業を把握していない者もあったため、歯周病検診の受診率の向上につながるよう情報の共有を上手にできたらよいと考えている。

(事務局)

本事業については事業者の協力があって実施されているものになり、今後については未定である。事業が継続されるようであれば、市としても協力したいし歯科医師会の協力もいただきたいと考えている。

(6) 浜松市歯科口腔保健推進条例改正について

(事務局)

歯科口腔保健推進条例の改正案について説明を行った。

(委員)

改正案にあるライフコースアプローチという言葉について、まだ浸透していないと思われるので説明をお願いしたい。

(事務局)

改正条文にはカッコ書きの説明を付ける予定である。ライフコースアプローチとは、胎児期から高齢期まで継続的、包括的に見ていくという意味である。

(委員)

今は介護を受けるような高齢者でも自分の歯を多く残している方が増えており、それに伴う課題が出てきている。元気なうちから予防的な施策をしていき健康寿命を延ばしていくということが、これからの人口構造や社会情勢などを考えた時に重要になってくると考えている。

(事務局)

健康寿命を延ばしていくことも大切なことだと考えているので、引き続き皆さまと協力しながら施策を進めていければと考えている。

(委員)

3歳児の健診受診率については、全国平均やトップクラスなどと比較してどの程度か。また、罹患率の増加については小さい頃からの教育がひいては健康寿命の延伸や医療費の削減につながるということもあると思うが、どのような対応を考えているか。

(事務局)

3歳児健診の受診率については、全国平均約95%（令和5年度）からするとやや低く（浜松市：86.3%（令和5年度））になっている。他の自治体は医科と同時の集団健診で行っているところが多いが、当市はコロナが流行したときに個別健診に切り替えた。この結果受診率が向上したため今後も個別健診を継続していく予定であり、受診率を維持できるように努力していく。

3歳児の罹患率が上がっていることについては、適切な方法を検討したうえで対応していきたい。

歯周病検診の事業については、受診をしてこなかった方へのきっかけづくりとしては適切なものと考えているため継続していきたい。ただし、かかりつけ医をもち定期的な受診をするようになることを一番重視しているので、そこを何よりも啓発していきたいと考えている。

(委員)

むし歯の本数について。学校健診などで見ていると、あごが小さい子どもが多いように感じている。歯並びの影響でむし歯になりやすかったり炎症が起きやすくなっているということがあると思う。カミカミメニューを導入しているという報告があったが、口腔機能に着目してやっていくということは大切だと思う。団体としても協力していけたらと思う。

(事務局)

口腔機能については健康教育で伝えることができると考えており、引き続き取り組んでいきたいので協力をお願いしたい。

その他

(事務局)

令和7年度第2回の歯科保健推進会議は、令和8年の2月の木曜日午後1時30分から3時を予定している。日程については改めて調整する。